

⑮ 免疫チェックポイント阻害薬

患者さんの免疫機能に作用する薬のことです

がん細胞は免疫系を抑制して生き延びているため、その抑制を解除し、患者さん自身の免疫機能を使ってがん細胞を攻撃できるようにする薬が免疫チェックポイント阻害薬です
しかし、免疫が過剰に活性化されることで炎症などの副作用（免疫関連有害事象）が発生することがあります

この副作用を防ぐのは難しいため、早期発見と対応が重要です



免疫 チェックポイント阻害薬	アテゾリズマブ (テセントリク®)	アベルマブ (バベンチオ®)
	デュルバルマブ (イミフィンジ®)	トレメリマブ (イジウド®)
	イピリムマブ (ヤーボイ®)	ペムブロリズマブ (キイトルーダ®)
	ニボルマブ (オプジーボ®)	



<がん情報サービスganjoho.jpから引用>

薬剤投与に伴う 注入反応 (投与24時間まで)

発熱、悪寒、掻痒感、発疹
高血圧、低血圧、呼吸困難
まぶた・唇・舌の腫れ、咳
めまい、動悸 など

- ☐ いらいらする
- ☐ 物忘れしやすい
- ☐ 考えがまとまらない

- ☐ いつもより疲れやすい
- ☐ 体重の増減
- ☐ 不眠

- ☐ 歩行時などに息が切れる
- ☐ 息苦しい
- ☐ 乾いた咳（空咳）
- ☐ 胸の痛み

- ☐ 血便・黒い便が出る
- ☐ 腹痛を伴う下痢

- ☐ 目がかすむ
- ☐ 目が見えにくい
- ☐ 物が二重に見える
- ☐ 白目が黄色くなる

- ☐ 悪心、嘔吐
- ☐ ひどい口内炎
- ☐ のどが渇く（口渇）
- ☐ たくさん水分を飲む（多飲）
- ☐ 話しぶらい
- ☐ 飲み込みにくい
- ☐ いつもより食欲がない

- ☐ 皮膚が黄色くなる
- ☐ ひどい全身のかゆみ
- ☐ 発疹
- ☐ 水ぶくれがでる
- ☐ 腫れ、むくみ

- ☐ 足、腕に力が入らない
- ☐ 手足の痛み
- ☐ 手足のしびれ
- ☐ 体の痛み
- ☐ 手のふるえ

ご連絡
いただきたい
状況

免疫チェックポイント阻害薬の副作用は、治療中だけでなく治療後も起こる可能性があります
発熱、息苦しさ、咳などの症状が急に現れたり、続いたり、悪化している場合は**自己判断せずに
必ずご連絡**ください（記載された症状以外にも体の異常を感じたらご連絡ください）
診察券を準備して「免疫チェックポイント阻害薬の点滴を受けている」ことをお伝えください。

TEL. 078-261-6711

平日（8:30～17:00）⇒ 各診療科が対応

時間外（17:00～翌8:30）及び土・日・祝日⇒ 救急外来が対応

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院